



プライバシーに配慮した AEDの使用について

高柳 浩子 議員 《座間市公明党》

突然の心停止から救命するため、そばにいた方が119番通報をし、救急隊の到着前に迅速な胸骨圧迫、さらにAED(自動体外式除細動器)を用いることが有効なため、平成16年7月より非医療従事者によるAEDの使用が認められるようになりました。AEDの使用率に男女差が生じているのではないかと分析されており、プライバシーへの配慮として、オレンジ色など透けない色の三角巾と使い方のリーフレットをAEDケースに配備していただきました。思いやりの見解を伺います。また、市ホームページには、設置場所、貸出し、使用方法

も含めて、見やすくわかりやすい掲載内容にしていきたいと思いますが見解を伺います。

消防長 色つきの三角巾とリーフレットの配備については検討していきます。市ホームページでは、使用方法も含めて見やすくわかりやすい掲載内容となるよう進めます。

【再質問】 市庁舎に設置しているAEDを見えるところに設置し、市庁舎案内図にも表示していただきたいと思いますが見解を伺います。

財務部長 今後は見やすく使いやすい配置にできるように検討し、フロア案内等への表示も検討していきます。



ひばりが丘5-12多目的広場に対する都市公園化の 検討及び健康遊具の設置について

鈴木 一寿 議員 《座間市公明党》

ひばりが丘5-12多目的広場については、地域住民の強い要望等により一時緊急避難所も兼ねた形で平成28年にオープンし、既になくはならない憩いの場として9年が経ちました。長期的な公園確保と計画的な整備のメリットがあることから都市公園化すべきと考えますが、所見を伺います。また、こども用遊具だけでなく、健康遊具も存在すれば、本市が第五次座間市総合計画で目指す「健康に暮らせるまちづくり」の実現にも資すると考えますが、多くの高齢住民等から設置要望が上がることに對して、見解を伺います。

市長 当該広場を市民の憩いの場として確保することは重要だと考えています。都市公園化は手段の一つと捉えています。都市公園法の規定で廃止が困難なことから、地権者の意向や全市的な公園配置のバランスを考慮し、様々な方法の検討と、財政状況を鑑みながら用地取得を検討する必要がありますと考えています。

都市部長 健康遊具の設置については、公園利用者の状況や要望、本市全体の財政状況、他公園の老朽化した遊具の更新等、様々な要素を考慮しながら必要性を検討し、具体的な遊具の選定は、地域の要望を伺い検討していきます。



視覚障がい者の安全のため、改善を

星野 久美子 議員 《日本共産党座間市議団》

座間駅前市道1号線を渡り花屋の前にあるバス停に行く歩道が凸凹です。途中には危険な形状のブロックや微妙な段差があり、視覚障がい者には危ない状況です。改善してほしいという声が届いています。対応を求めます。また、視覚障がい者にとって点字ブロックは非常に大切なものですが、誰かが点検を行っているのか伺います。

都市部長 座間駅前の横断歩道からバス停までの点字ブロックの設置については、歩道の状況を確認して設置の検討を行います。歩道については段差や路面状況を調査して、補修が必要な箇所について改

善します。点字ブロック等の点検は定期的に行っています。が、職員が業務で外出する際に、業務に支障がない範囲で歩道の路面状況などを注意深く確認しています。

【再質問】 点字ブロックの点検は個別・定期的には行っており、職員が外出したときに目で確認をしていることですが、それでいいのでしょうか。定期的にしっかりと見たほうがいいと思いますが、見解を伺います。

都市部長 毎年定期的に開かれてはいる国民安全の日や、その他8月10日の道の日等の機会を捉えて、点検しているか検討していきます。



歩行者の安全を守るための 相武台前駅周辺の環境整備について

松橋 淳郎 議員 《おおぞらひまわりの会》

市道5号線と市道32号線が重なる、業務スーパー相武台店付近の交差点から相模原方面に延びる歩道について、令和6年度は仮舗装が完了しましたが、令和7年度の整備予定を伺います。また、さらにその先、小池窪坂を下り、相模が丘交番の交差点(県道50号)までの今後の整備計画をお聞かせください。

都市部長 令和7年度は、電柱の移設と道路詳細設計を行う予定です。市道相武台71号線から県道50号までの整備については、2か年で座間市道路整備計画を策定します。この計画で幹線道路全ての現状問題点を把握し、今後

の整備の方向性と、その優先順位を決定する予定です。

【再質問】 業務スーパー付近は、電柱が移設され、車道が拡張されると思いますが、歩行者の安全対策として、歩道は両側に設置されていくのかお聞かせください。

都市部長 令和8年度に車道の両側に歩道を設置します。

【再質問】 両側に歩道を設置することですが、業務スーパーと反対側の歩道の設置に当たり、セッパバックをせずに歩道の設置が行えるのか伺います。

都市部長 業務スーパーの反対側の用地買収はせずに、歩道の整備を進めていきます。



公民館を核とした人づくり・地域づくり、 市民主体の事業について

長瀬 未紗 議員 《会派に属さない議員》

本市の生涯学習は、講座等を通して地域課題を解決したり、教養を深めることで暮らしを豊かにしたり、さらには、受講生同士の交流が新たな活動を生み出すなど、講座の時間だけではとどまらず、人づくり、地域づくりを行ってきたと考えます。そしてより身近な地域でその役割を担ってきたのが公民館です。今後どのように人づくりを行っていく考えがあるのか伺います。

教育部長 公民館は地域の人づくりの重要な拠点になり得る存在であると考えています。地域に根差した施設である特性を生かして、人が集い、幅広い世代が交流できる機会を増やすため、文化祭などを開催することや、共に学び、仲間づくりにつながる学級講座を開設しています。さらに、社会教育指導員等が積極的に関わることで、より充実すると考えています。

【再質問】 子育て情報誌「ぞまっぶ」や、市民音楽祭合唱の部など、これまで市民主体だった事業が市主導になることとします。市民主体の事業を通しての人づくりの場を今後も大切にしてほしいと考えますが、見解を伺います。

教育部長 市民主体の事業を通して人づくりの場を大切に考えており、今後もよりよいやり方を模索していきます。



在日米陸軍の水道施設の返還と 市営水道の利用について

沖永 明久 議員 《会派に属さない議員》

キャンプ座間の在日米陸軍は、キャンプ座間以外に市内4か所の水道施設を占有しています。この米軍水道施設の返還と座間市営水道の米軍利用について、状況を伺います。

市長 米軍水道施設の返還については、平成13年のキャンプ座間への県水給水開始以降も、「不測の事態に備えた緊急用水源を確保したい」とのことから、返還が難しい事態になりました。市営水道の導入については、南関東防衛局から「費用負担が課題である」との説明がありました。

【再質問】 緊急用水源を確保したいならば、本市の水道を利用してもらえばよい話

であり、そうすれば米軍水道施設の返還が実現でき、本市の水道事業にとっても水道料金収入が増え、事業経営の健全化に資することになります。費用負担が課題とのことですが、米軍側か日本政府側か、どちらの負担になるのか伺います。

市長 施設整備は国の負担、水道使用料は、米側の負担と認識しています。

【再質問】 本市が基地負担の軽減を求めることは正当性があります。国との協議を前進させていただきたいと思いますが、見解を伺います。

市長 国との協議を進めていきたいと考えています。

議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論) 省略・採決、閉会

なお、質疑、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。

議案第1号に対する質疑(2月19日)

加藤学(座間市公明党)、松橋淳郎(おおぞらひまわりの会)

総括質疑(2月20日)

竹田陽介(自由民主党座間市議団)、加藤学(座間市公明党)、荻原健司(新政いさま)、松橋淳郎(おおぞらひまわりの会)、守谷浩一(日本共産党座間市議団)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、長瀬未紗(会派に属さない議員)、馬場佳陽(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員)

討論(3月24日)

星野久美子(日本共産党座間市議団)、高波貴志(自由民主党座間市議団)、長瀬未紗(会派に属さない議員)、星野郁(おおぞらひまわりの会)、沖永明久(会派に属さない議員)、加藤学(座間市公明党)、馬場佳陽(会派に属さない議員)、大矢新一郎(新政いさま)、安海のぞみ(会派に属さない議員)

